

令和7年度 事業実績書

団体名	みやの地域づくり協議会
-----	-------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地域住民や各種団体と連携・融和を図るとともに、地域課題の解決に向けた活動を活性化し、安心・安全な地域づくりを推進します。
--

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	県有地の跡地利用は将来の宮野に大きな影響を与えることから、県・市との連携強化に努めました。		
	事業名	未来構想研究事業 (県有地跡地利用等)	決算額	2,328円
②	視点	子ども達による小・中学校合同地域清掃活動のアピール及び町内会内での一斉清掃を推進し、不法投棄防止運動を幟旗設置等で啓発普及しました。		
	事業名	クリーン作戦啓発事業	決算額	3,694円
③	視点	写真を通じて「ふるさと宮野」の良さを再発見し、愛着を深めました。展示会・投票審査会を開催し投票数も増加し一層愛着が深まりました。コンテスト写真のアルバム製作に着手しました。		
	事業名	歴史・文化・自然写真コンテスト事業	決算額	124,211円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)		自己評価
①連携強化により入手した情報は、可能な限り地域の皆さんへ情報提供に努めます。県立大学南キャンパス及び林業指導センターの解体も始まったことから、今後の動向を注視し、情報発信により情報共有を図ります。		◎
②ゴミのない地域づくりについて各自が自覚を持ち、きれいな宮野地区を目指します。地域一斉清掃等を協議し環境整備を図ります。不法投棄防止運動は継続する必要があります。		○
③第16回を迎えた写真コンテストは、応募規程の変更等から応募数増加に繋がり、ふるさと宮野再発見に繋がりました。		◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

地域づくり計画に基づき事業を計画しましたが、新たな事業が発生するなどいたしました。部会で実施時期を検討するなど効率的な活動ができ、今後も部会との連携を密にし「地域課題解決」に向け「地域活性化」「円滑な事務局運営」を図ります。
--

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	8,994,254円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名、事務局員3名 (運営費の主な内容) 事務局員人件費、時間外手当、事務費 (成果・評価) 事務局体制が不安定な時期がありましたが、円滑な事務局運営ができました。本会及び受託団体の運営やウェブサイトの円滑な管理運営ができ、広報紙等で情報発信を図りました。 (今後に向けて) 部会主体の事業推進を目指し、部会と事務局の連携強化を図ります。本会及び受託地域団体の円滑な運営に努めます。広報紙の充実を図ります。

(2) 総務部会

事業名	広報活動事業
事業費	722,886円
事業概要	(実施内容) ウェブサイトの管理運営とともに、広報紙「みやの地域づくりだより」を発行し、事業紹介や地域の課題解決について情報共有を図りました。 (実施時期) 通年 (成果) 協議会の活動紹介や地域課題の共有は概ね図れました。地域情報誌「みやの」への印刷費支援により情報の周知度が向上しました。 (評価) 細やかなウェブサイト運営や広報紙発行などで事業啓発が図られました。 (今後に向けて) ウェブサイトで最新情報を的確に提供するとともに、定期的な広報紙発行により地域情報の共有化、内容充実を図ります。

事業名	未来構想研究事業(県有地跡地利用等)
事業費	2,328円
事業概要	(実施内容) 県大南キャンパス跡地利用に伴う県・市からの情報を周知しました。 (実施時期) 通年 (成果) 南キャンパス跡地利用及び林業指導センター跡地整備等について、移動市長室を利用して山口市よりの情報提供及び地元要望を共有しました。 (評価) 現状を周知できました。 (今後に向けて) 県と市との進捗状況に注意を払い、地域対応に努めます。県林業指導センター跡地利用についても県の動向に注意を払います。

事業名	子どもの食農教育支援事業
事業費	40,000円
事業概要	(実施内容) 子どもたちが自然に触れる体験学習を支援しました。 (実施時期) 6月～11月 (成果) 小学5年生(60名)は「米づくり体験学習」、園児(60名)は「イモ掘り体験」により、自然との触れあい学習ができました。 (評価) 子どもたちへの食農教育啓発が図れました。 (今後に向けて) 関係団体と協議を重ね、継続します。

(3)生活・環境部会

事業名	土木工事
事業費	3,445,640円
事業概要	(実施内容) 法定外公共物等整備事業を実施する地元関係者を補助しました。 (実施時期) 通年 (成果) 実施団体:8団体 (評価) 申請受付、審査、実施、支払と円滑に実施できました。 (今後に向けて) 担当者と連携を図り、交付金の有効利用を図ります。

事業名	木戸山公園整備事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 実施していません。 (実施時期) — (成果) — (評価) — (今後に向けて) 宮野のシンボルとして維持管理を実施していましたが、草刈実施団体の継続が困難となり、土地所有者である宮野財産区と協議し自然に戻すこととなりました。

事業名	クリーン作戦啓発事業
事業費	3,694円
事業概要	(実施内容) 宮野小・中学校の児童・生徒による合同地域清掃をアピールし参加者を募集しました。参加者は少数でしたが、子ども達と合同で地域清掃に汗を流しました。不法投棄防止運動の一環として、常襲地帯への幟旗設置及びパトロールを継続実施しました。 (実施時期) 小中学校合同清掃;11月 不法投棄防止運動及びパトロール;通年 (成果) 美化推進活動は地域に浸透し、各町内会での活動は活発化しています。 (評価) 住民参加型の地域一斉清掃の企画等により美化意識向上を図る必要があります。 (今後に向けて) 町内会一斉清掃を推進し、環境美化の意識向上を図るとともに、関係機関との連携及び不法投棄防止運動を広報し、不法投棄のないきれいな地域づくりを目指します。

事業名	さくらの里づくり維持管理事業
事業費	116,380円
事業概要	(実施内容) 要望が申請された町内会内の危険性の高い老木を処理しました。 (実施時期) 通年 (成果) 倒木の危険がある箇所の内、1本を伐採しました。 (評価) 残りの老木処理が急がれます。 (今後に向けて) 公共性の高い地域のサクラ樹については、確認を要請し計画的な処理作業を行ない、地域の安全を図ります。

事業名	里山資源利用団体支援事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 支援していません (実施時期) — (成果) — (評価) — (今後に向けて) 里山資源利用団体の認知度を高め、活性化につながる事業を支援します。

事業名	地域と県立大学の交流会支援事業
事業費	40,000円
事業概要	(実施内容) 地域と山口県立大学をつなぐ、交流会を支援しました。 (実施時期) 10月 (成果) 地域住民と学生がともにりんご狩り・クイズ・施設見学(仁保インテルサット)等を楽しみ、相互の距離を縮める交流となりました。 (評価) 屋外交流会は、相互理解の向上につながります。 (今後に向けて) 相互理解を深めるための事業内容を継続支援します。

事業名	着物喫茶支援事業
事業費	53,377円
事業概要	(実施内容) 地域交流ステーション宮野の施設を利用し、秋2回開催しました。 (実施時期) 10月・11月 (成果) 地域住民と学生との交流は、概ね達成できました。 (評価) 地域・県立大学サークルのイベントを開催し来客数は達成できました。 (今後に向けて) 参加者増加につながる広報活動やおもてなし内容の検討、コミュニケーション能力の向上に取り組みます。

事業名	まち歩き支援事業
事業費	1,995円
事業概要	(実施内容) 学生案内による交流徒歩ツアーを秋2回開催しました。10月は宮野地内、11月は宮野地域外で開催しました。 (実施時期) 10月・11月 (成果) 参加者が少なく、目標は達成していません。 (評価) コースを変更する等の工夫をしましたが、広報等の周知方法に課題を残しました。 (今後に向けて) 参加者の増加を図るため、広報・企画内容を検討します。

事業名	道路維持活動助成事業
事業費	676,488円
事業概要	(実施内容) 町内会が実施する市道の除草作業に対して助成しました。 (実施時期) 4月～12月 (関係町内会数) 10町内会 (成果) 取組町内会数は前年度と同数でしたが、実施面積が増加しました。 (評価) 計画のとおり実施され、市道の安全を維持しました。(44円/㎡) (今後に向けて) 町内会への情報提供を十分行い、事業実施する町内会及び路線の増加を図ります。

(4) 地域福祉部会

事業名	あいさつ運動事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) あいさつ標語幟旗を町内会や関係機関に配布・設置し、普及啓発を図りました。 (配布時期) 通年 (成果) 幟旗を地域全体に設置することにより、コミュニティ活動の大切さは、子どもから高齢者まで地域全体に浸透しています。 (評価) 地区全体で「あいさつ運動」が浸透し活性化につながりました。 (今後に向けて) 「あいさつ運動」を継続し、明るい地域づくりを目指します。

事業名	救命講習会開催事業
事業費	1,998円
事業概要	(実施内容) 普通救命講習 I (3時間コース) に17名の参加があり、知識と技術を身に着けました。 (実施時期) 3月 (成果) 人命救助の正しい知識と技術、勇気を身につけました。 (評価) 参加者数は概ね達成できました。初心者も多くなり次につながります。 (今後に向けて) 繰り返し受講することにより知識・技術は身に着くので、意識の向上を図るために継続します。

事業名	講座・講演会開催事業
事業費	10,126円
事業概要	(実施内容) 実技を伴う「いきいき健康講座」を開催し見聞を広めました。 (実施時期) 11月 (成果) 37名の参加があり、わかり易い説明と実技で心身リフレッシュできました。 (評価) 生活に密着した運動の指導を受けるなど、健康を維持する必要があります。 (今後に向けて) 関係団体と連携し、興味あるテーマで講演会を継続します。

事業名	世代間交流開催事業
事業費	23,345円
事業概要	(実施内容) 地域伝統文化「どんど焼き」を小学校運動場で実施し、「ぜんざい」「焼きも」を振舞い交流を図りました。 (実施時期) 1月 (成果) 関係団体と連携し、子どもを含む地域の皆さんと伝統文化の継承及び交流を図れました。参加者約170名。 (評価) 伝統文化を実施し、子ども達への継承が必要です。 (今後に向けて) 世代間交流と伝統文化継承を図ります。

事業名	コミュニティ交通検討・支援事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) コミュニティタクシーの地域での重要性や利用促進に係る情報提供を支援しました。 (実施時期) 広報紙発行;3月 (成果) 創設以来、利用者が着実に増加していることを伝え、利用促進を図りました。 (評価) 利用者の需要はあることから、きめ細やかな情報提供が必要です。 (今後に向けて) コミュニティ交通の重要性や必要性を周知し、利用促進を支援します。

(5) 安心・安全部会

事業名	子どもの安全対策事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 小学校入学式での「宮野キッズ守り隊」の紹介や関係団体と連携を図り見守り活動を実施しました。「こども110番の家」の協力者・団体へ幟旗を配布し、子どもの安全を図りました。 (実施時期) 通年 (成果) 子どもの登下校の安全確保について啓発が図れました。 (評価) 小学校等関係団体と連携し、宮野地区の安心・安全を図ります。 (今後に向けて) 関係団体と十分な連携を図り、見守り活動の強化、「宮野キッズ守り隊」の組織化を目指します。

事業名	高齢者の安全対策事業
事業費	2,526円
事業概要	(実施内容) 県の講座を利用し、高齢者を対象とした「防犯・交通安全講習会」を開催しました。 (実施時期) 2月 (成果) 「自分の身は自分で守る」意識の向上を図りました。 (評価) 多種にわたる講習を受講し、安心・安全対策の意識向上が図れました。 (今後に向けて) 地域の高齢者が加害者・被害者にならないための情報を共有し、意識の向上を図ります。

事業名	防犯灯設置等補助事業
事業費	60,550円
事業概要	(実施内容) 安心・安全を図るため、地域の防犯灯設置や更新等を補助しました。 (実施時期) 通年 (実施町内) 9町内会 20灯 (成果) 特別加算補助金を対象とした指定区域(県道204号沿線)には、設置されませんでした。 (評価) LED灯の更新時期となり、地域の動向を再確認する必要があります。 (今後に向けて) 住民の安心・安全対策の重要性を啓発します。LED灯更新申請が増加する傾向にあるため予算確保に努め、「明るい宮野」を推進します。

事業名	反射鏡設置等補助事業
事業費	76,170円
事業概要	(実施内容) 交通事故防止等のための反射鏡設置や修復を補助しました。 (実施時期) 通年 (対象箇所数) 1町内会 1基 (評価) 補助事業の内容周知や設置必要箇所等を再確認する必要があります。 (今後に向けて) 町内会に対し、交通事故防止対策としての必要性を周知し、事業推進を図ります。

事業名	防災対策向上事業
事業費	8,428円
事業概要	(実施内容) 出前講座を利用し、子どもを対象とした「防災学習会」を開催しました。 (実施時期) 8月 (成果) 防災対策の重要性を子どもの頃から認識してもらう学習・体験企画でした。 (評価) 夏休み期間に開催することにより、13名の子どもが参加しました。 (今後に向けて) 子どもを対象とした「楽しい体験学習会」の開催により、防災意識の向上を図ります。

(6)健康・体育部会

事業名	健康ウォーキング事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 実施していません。 (実施時期) — (成果) — (評価) — (今後に向けて) ウォーキングを介して、健康づくりの盛んな地域を目指します。

事業名	ふれあいスポーツ交流事業
事業費	8,197円
事業概要	(実施内容) 「フレイル予防」のためのテレビゲーム体験交流会及び世代間交流ボウリング大会を実施しました。 (実施時期) 2月・3月 (成果) 任天堂(株)の許可のもと、高齢者のフレイル予防を目的としたボウリング大会を開催(参加者:15名)、世代間交流ボウリング大会を開催(参加者:22名)しました。 (評価) Nintendo Switchを利用したボウリングゲーム等で楽しく交流し、フレイル予防への意識向上が図れました。指先、頭の体操となり好評でした。 (今後に向けて) 購入した機材を利用して事業を継続し、子どもから高齢者を対象に世代間交流とフレイル予防対策を図ります。

事業名	ニュースポーツ普及事業
事業費	2,845円
事業概要	(実施内容) 子どもから高齢者まで参加を募り、ニュースポーツ「クッブ競技」を実施しました。 (実施時期) 3月 (成果) 高齢者のみの参加(14名)となりましたが、競技ルールの復習及び指導者の育成ができました。 (評価) 子どもたちが興味を持つ競技を検討し、次回に繋げる必要があります。 (今後に向けて) 開催時期・種目等を検討するとともに、体を動かす習慣付けを推進します。

(7)文化・伝統部会

事業名	歴史講座開催事業
事業費	20,000円
事業概要	(実施内容) 「藩校から宮野小学校へ」をテーマに歴史講座を開催しました。 (実施時期) 11月 (成果) 参加者24名 宮野小学校及び地区の歴史について意識向上が図れました。 (評価) 郷土史を中心に様々な角度からのテーマを探る必要があります。 (今後に向けて) 好評な事業であることから継続し、テーマや講師等を検討します。

事業名	歴史・文化・自然写真コンテスト事業
事業費	124,211円
事業概要	(実施内容) 審査会による賞と展示会を兼ねての投票による賞を設けて、第16回写真コンテストを実施しました。記念アルバム製作に着手しました。 (実施時期) 9月～3月 (応募人数・応募数) 24名 ・ 66点 (成果) 写真応募や展示会を通じて、宮野の名所等を再発見し、愛着を深めました。投票は、コンテストや宮野への関心を高めることに貢献しました。 (評価) 応募規格を改正したことにより、応募者・出展数増加につながりました。 (今後に向けて) 広く地域内・外に企画を紹介し、応募数増加を図ります。アルバムの有効利用を検討します。

事業名	名所・旧跡等保全活動事業
事業費	404,050円
事業概要	(実施内容) 「宮野名所・旧跡マップ」の増版(1,000部)や写真コンテスト応募写真を利用しての「2026 宮野の風景カレンダー」を7,000部作製し、全戸・関係機関に配布しました。 (実施時期) 10月～2月 (成果) 好評なカレンダーで、自然豊かな宮野の名所・旧跡を地区内外に周知することができました。名所・旧跡マップは、様々な活動で利用されています。 (評価) ふるさと宮野に愛着が深まりました。 (今後に向けて) 風景カレンダーの作製・配布を継続することにより、「ふるさとみやの愛」を育みます。名所・旧跡の散策を推進します。

事業名	ホタルまつり支援事業
事業費	200,000円
事業概要	(実施内容) 地域文化活動を支援しました。 (実施時期) 6月 (成果) 雨天対策から会場を宮野小学校に移し、新企画を設定するなど来場者増加に繋がりました。 (評価) イベントの内容変更等、新たな取り組みが参加者増加に繋がりました。 (今後に向けて) 参加者増加につながる企画・運営を支援します。

事業名	祇園裸坊参加支援事業
事業費	80,000円
事業概要	(実施内容) 市内の伝統行事に宮野地区としての参加を支援しました。 (実施時期) 7月 (参加人数) 神輿担ぎ参加者等;71名 (成果) 「宮野魂」を発揮して神輿を担ぎ、有志の交流が図られました。目標参加者数は概ね達成しました。 (評価) 参加者数において、一層の増加を目指します。 (今後に向けて) 参加者増加につながる新たな企画・運営を支援します。